

2026年5月20日

各位

株式会社 SBI証券

「DEALWATCH AWARDS 2025」受賞のお知らせ
～SBI証券が主幹事を務めた案件が計3件受賞～

株式会社 SBI証券(本社:東京都港区、代表取締役社長:高村正人、以下「当社」)は、ロンドン証券取引所グループの「DealWatch」が主催する「DEALWATCH AWARDS 2025(ディールウォッチ・アワード 2025)」において、当社主幹事案件が株式部門および社債部門で計3件受賞しましたので、お知らせします。

DEALWATCH

AWARDS 2025

CELEBRATING THE ACHIEVERS IN JAPAN'S CAPITAL MARKETS

株式部門では、当社が主幹事を務めた株式会社 ispace の公募増資に関し、株式会社 ispace が「Equity Deal of the Year」に選定されました。また、当社が共同主幹事を務めた株式会社 SBI 新生銀行の再上場に関し、SBI 新生銀行が「IPO of the Year」に選定されました。さらに社債部門では、当社が引受・販売を担った社債発行に関する取り組みが評価され、発行体である SBI ホールディングス株式会社が「Bond Issuer of the Year」に選定されました。

DEALWATCH AWARDS は、日本関連の資本市場の育成・拡大に資することを目的として 1995 年に創設されました。「本邦市場が世界の主要市場としてさらに発展していく」との観点から、アワードは発行市場における適正なプライシング、流通市場に移行した後の価格形成、資本市場の発展への貢献、さらには創意工夫などを総合的に勘案して選定されています。

2025 年度の DEALWATCH AWARDS は、「総合」「社債」「地方債」「クロスボーダー債」「サステナブル・ファイナンス」「株式」の計 6 部門で構成されています。

当社は今後も、SBI グループが掲げる「顧客中心主義」のもと、発行体の多様な資金調達ニーズに応えるとともに、個人投資家・機関投資家の皆さまに魅力ある投資機会を提供し、日本の資本市場のさらなる発展に貢献していきます。

■講評コメント

【株式部門】

<Equity Deal of the Year> ispace

主幹事：SBI証券

上場後の赤字企業によるリテールを含む公募増資の成功例が乏しいなか、宇宙産業への期待を背景に成長資金を果敢に調達。事業シナジーのある企業への第三者割当を並行して行うなど工夫も光り、株価も底堅く推移した。

<IPO of the Year> SBI 新生銀行

主幹事：野村證券／SBI証券／みずほ証券／ゴールドマン・サックス証券／SMBC日興証券／BofA証券

23年の上場廃止から公的資金返済を経て異例の早さで再上場を果たした。SBIホールディングス傘下後の急成長、次世代金融銘柄としての魅力を訴求しきり、総額3701億円の巨額IPOを完遂。上場後株価も堅調だった。

【社債部門】

<Bond Issuer of the Year> SBIホールディングス

主幹事：SBI証券

既発社債の買入れと新規社債の発行を同時に行い、償還ラダーを平準化する国内初のスキームを導入して調達を実現。リテール向けセキュリティトークン債では流動性の課題を解消するなど革新的な手法に取り組んだ。

<金融商品取引法等に係る表示>

商号等 株式会社SBI証券 金融商品取引業者、商品先物取引業者

登録番号 関東財務局長(金商)第44号

加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人日本STO協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会

<手数料等及びリスク情報について>

SBI証券の証券総合口座の口座開設料・管理料は無料です。

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)、店頭CFD取引(SBI CFD)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。
